



★ バルク乳検査の時期です！ ★

年2回（6月、10～11月頃）のバルク乳検査（細菌・牛ウイルス性下痢（BVD）ウイルス）を行います。採材と検査のご協力をお願いします。

バルク乳検査によって、農場の搾乳衛生を定期的を確認し、乳房炎や搾乳衛生の問題を早期に発見することができます。衛生的な搾乳作業を行い、乳房炎のまん延を防ぎましょう。

★ 効果的な消毒を行きましょう！ ★

topics1 清拭タオルの消毒について

清拭タオルは、汚れを落としてから適切に消毒をしましょう。

point

01 消毒剤は既定の濃度と温度で使用。
例) 次亜塩素酸ナトリウム

✗ 43°C ↑
● 43°C以上で急激に効果が低下する。35～40°Cの温湯に溶かすと良い。

● クーラーボックス等にタオルを入れると保温性があり、落下細菌も入らないので効果的。



point

02 有機物により消毒の効果は低下。

● タオルはバケツの上で絞らず、使用済みのタオルは別のバケツへ。



● 消毒剤の入った手洗いバケツで都度手を洗浄すると衛生的。

topics2 ディッピングについて

プレディッピング・ポストディッピングは乳頭の3分の2に薬剤が付着するようにしましょう。乳頭を殺菌することができ、前者は環境性乳房炎に、後者は伝染性乳房炎に効果的です。ディッパータイプは下記の2種類があります。

搾乳後は使用液を捨て
洗浄・乾燥



1. 浸漬タイプ

液が容器に戻りにくい
ノンリターンタイプがより衛生的

2. スプレータイプ

乳頭全体に薬剤をかけるのが難しい



必要な液量が多い

容器内の液が汚れにくい